

第1回定例会
6月議会



美しい朝日に照らされる明石海峡。先人から受け継いだ豊かな海は明石の宝物です。

令和3年度一般会計補正予算(第3号)

拙速すぎる明商の福祉科棟設置

整備費を削除する修正案を賛成多数で可決

令和3年第1回定例会6月議会が6月7日から6月29日まで開かれました。令和3年度一般会計補正予算(第3号)を修正可決したほか、明石市営住宅条例の一部を改正する条例、調停の成立のことなど、議案19件を可決・同意、報告5件を了承、請願2件を採択しました。

6月29日の本会議では、明石商業高校福祉科棟の整備事業費を削除する令和3年度一般会計補正予算(第3号)の修正案を賛成多数で可決しました。



教員確保や定員数は未定

算を提案しました。審査を行った文教厚生常任委員会では、福祉人材を確保する必要性は高く、早急に準備を進めるべきとの賛成意見がある一方、福祉科の設置に反対するものではないが、教員確保や定員数も確定していない状況で施設整備に踏み切るのは拙速で

はないか。また、県内の福祉科を設置している他校の今年の志願者数が全て定員に満たない状況の中、同科に対するニーズがあるのか疑問であるとして、5人の委員から、福祉科棟整備費として計上された総額5億7440万円を削除する修正案の提案があり、この修正案を賛成多数で可決しました。

なお、同補正予算における修正部分以外の新型コロナウイルス感染症対策事業費、児童相談所の支援対象児童の見守り強化等に係る事業費、明石商業高校の低所得世帯への貸出用タブレット端末整備費については、全会一致で可決しました。

J T跡地北側の民有地 調停成立により土地取得へ 評価額は約1億7千万円

6月29日の本会議では、J T跡地北側に隣接する土地の賃借権の確認を求めていた調停の成立と当該土地の取得費用および歩道整備費などを含む令和3年度一般会計補正予算(第4号)を全会一致で可決しました。

J T跡地北側と市道大久保418号線との間にある土地のうち、西側部分の認可保育所に隣接する土地は、市が利用者の進入経路として平成30年度から賃借していましたが、土地所有者と賃借権の存否について争いが生じたため、民事調停を申し立てていました。このたび、裁判所から解決策として、東側部分を含む土地全体を売買する提案があり、評価金額として1億6814万円が双方に提示され、本市は、この条件を了承し、本調停を成立させることとするものです。



土地取得に伴い東側の歩道も整備

審査を行った総務常任委員会では委員から、調停案の金額は路線価を参考にしたものより高額であるが、市はこの内容を妥当と考えている

のかと質問がありました。市からは、金額は裁判所が中立的な立場で、当該土地の価値の上昇も考慮し、提示したものである。土地全体を取得することにより、市が保有するJ T跡地の安定的な土地利用が可能となるため、本市のまちづくりを進める上で妥当であると考えるとの答弁がありました。

- も 2 市政を問う 21人が登壇
質疑・一般質問
- く 3 議員よもやま話
- じ 4 請願・意見書

- 4 収支報告書や領収書
政務活動費の閲覧ができます
- 5 高校生から募集
議会ポスターデザイン決定
- 5 参加者募集
夏休み親子で議会体験ツアー

- 6 新議長・副議長に聞く
- 7 特集
今年度の議会の活動を紹介
- 8 各議員の議案等に対する賛否を掲載
議案の賛否一覧

マチイロ
市議会だよりを
スマホで読める

※利用にはアプリのダウンロードが必要です。




質疑・一般質問

6月14日、15日、16日の本会議では、21人の議員が登壇し、新型コロナウイルスワクチン接種などについて市の見解を求めました。また、16日には追加提案された議案について質疑を行いました。

発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

なお、QRコードを読み取ると本会議の録画映像がご覧いただけます。



発言者一覧

— 発言順 — () は会派名

- 6月14日・15日・16日
- 三好 宏** (自民党 真誠会・代表質問)
 ①泉市長の政令市移行を目指す発言 ②工場立地法に基づく緑地面積率の緩和 ③第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会 ④コロナ禍におけるごみ処理の諸問題
- 梅田 宏希** (公明党)
 ①新型コロナウイルスワクチン接種 ②新型コロナウイルスの諸課題
- 竹内 きよ子** (明石かがやきネット)
 ①新型コロナウイルスワクチン接種事業 ②大久保駅南地区JT跡地の開発計画 ③新型コロナ禍の教育現場において子供たちがのびのびと学校生活を送ることができる環境整備 ④不妊治療にかかる費用の助成
- 井藤 圭順** (自民党 真誠会)
 ①本市のおむつ事業 ②給食運営事業費 ③社会貢献活動の推進
- 尾倉 あき子** (公明党)
 ①緊急事態宣言再延長に伴う地域経済への影響と支援 ②マイナンバーカードの交付状況と今後の取組
- 吉田 秀夫** (明石かがやきネット)
 ①本市の人事行政 ②本市の人口動態 ③コロナ禍で困窮する子供・保護者への支援 ④新型コロナウイルス感染症対策
- 灰野 修平** (自民党 真誠会)
 ①コロナ禍における市政の現状と影響及び今後の対策 ②学校での防災教育
- 佐々木 敏** (公明党)
 ①GIGAスクール構想による電磁波被ばくとブルーライト対策 ②他の自治体の優れた施策を学び実行を
- 林 丸美** (明石かがやきネット)
 ①学校給食と市民の食を支える持続可能な農業の促進
- 林 健太** (自民党 真誠会)
 ①コロナ禍における選挙 ②新型コロナウイルス感染症に関する国の支援策の広報
- 松井 久美子** (公明党)
 ①コロナ禍における高齢者の健康維持と健康長寿社会の構築を ②生理用品サポート事業「きんもくせいプロジェクト」 ③SDGs (持続可能な開発目標) 推進に向けた取組
- 寺井 吉広** (自民党 真誠会)
 ①コロナショック下での明石ブランドへの支援 ②海岸・沿岸の保全と活用
- 飯田 伸子** (公明党)
 ①アスベストによる健康被害者の救済に向けた本市の取組
- 千住 啓介** (自民党 真誠会)
 ①新型コロナウイルス感染症あかし支え合い基金 ②こどもを核としたまちづくりを行ってきた泉市長の家族観 ③兵庫県知事選挙立候補予定者に対する公開質問状
- 楠本 美紀** (日本共産党)
 ①生理の貧困 ②子供たちが安心して過ごせる保育所に ③新型コロナ感染症ワクチン接種
- 森 勝子** (維新の会)
 ①コロナ禍における泉市長の言動 ②西明石駅の再整備 ③動物殺処分ゼロに向けた取組
- 家根谷 敦子** (スマイル会)
 ①障害者へのさらなる支援
- 宮坂 祐太** (フォーラム明石)
 ①福祉事業所における人材の確保及び育成 ②公共工事の施工時期の平準化
- 丸谷 聡子** (かけはしSDGs)
 ①大久保北部の里山をはじめとする明石の緑のあり方 ②重層的支援体制整備事業 ③ヤングケアラーへの支援 ④新型コロナワクチン接種のリスク管理
- 辻 達也** (日本共産党)
 ①明石市「有言実行」プラン ②明石クリーンセンターの管理・運営 ③スクールガード ④水防体制とワクチン接種
- 北川 貴則** (維新の会)
 ①コロナに負けない生活支援と福祉の充実 ②「安全なまち明石」の実現のための危機管理 ③地球にやさしい取組
- 6月16日
辻 達也 (日本共産党)
 ①議案第67号 調停の成立のこと

工場緑地面積率の緩和 検討会開催と市民意見募集 早期の条例提案を目指す

問 工場立地法に基づく緑地面積率の緩和について、現状と今後の取組

答 本市は、学識経験者、経済団体、環境団体、市民・地域の代表で構成する明石市工場緑地のあり方検討会を設置し、緑地面積率の緩和による効果、地球温暖化防止や防災面など、緑地の持つ多面的な機能に加え、企業による地域貢献の取り組みなど、幅広い視点



昨年12月に設置された検討会

り組みを聞く。また、工場の緑地について行った市民意見募集では、生活環境への影響を懸念して緩和

に反対する意見や、生産効率の向上に向けた工場の建て替え等を進めるため早期の緩和を求める意見など、約600件の意見があった。

あかし支え合い基金 1億2千万円をコロナ関連支援に 十分な協議なく積み立て前に活用

問 新型コロナウイルス感染症あかし支え合い基金に積み立てるとして募集した寄付金が積み立てられずに活用された。事前に議会と協議すべきでなかったか。

答 自治体の財政制度上、基金とは当年度の収入の一部を次年度以降の財源とする場合に積み立てる制度であり、当

議すべきでなかったか。基金とは当年度の収入の一部を次年度以降の財源とする場合に積み立てる制度であり、当年度の収入を同年度中に活用する場合は通常、積み立ては行わない。積み立てると、基金を取り崩す予算の議決が必要となる。なお、令和2年度中の寄付金総額は、1億8130万円であり、そのうちの1億2千万円を同年度に行った医療体制の充

実や市民生活の支援、感染拡大の防止等の事業に活用し、残りの6130万円は3年3月末に基金に積み立て、3年度以降のコロナ対策事業の財源とした。今後の基金の積み立てと活用方法などについては、事前に議会と協議していきたい。

各種計画の策定に遅れ ワクチン接種への職員配置が影響

民間委託拡大や臨時職員を配置

問 新型コロナウイルス感染症対策に伴う職員の異動により、通常業務や各種計画の策定に影響が出ている。現状と今後の対策を問う。

答 ワクチン接種を安全かつ確実に実施するため、コロナワクチン対

策室に4人が異動、22人が事務に従事し、各

生活に直結する上下水道やごみ収集、各種窓口業務などは体制を堅持し、各種計画の策定

後は、集団接種業務への民間委託の拡大や臨時職員に置き換えることにより、正規職員を各所属に復帰させ、通常業務への影響を早期に解消させたい。

政令市への移行

まずは医療や教育の権限を 市民サービスの充実へ

問 政令市への移行やさらに県からの権限移譲を求める本市の目的は、

権限が移譲された場合は、コロナ禍の医療体制を充実させる

問 県知事選挙投票所での新型コロナウイルス感染症防止対策と新型コロナウイルスに感染し、入院や自宅等で療養している人への投票機会の確保について聞く。

選挙から適用となる。その際には感染者の投票機会の確保について関係機関と連携し、適切に対応していく。

答 平成30年の中核市移行に伴い本市では、保健所や動物センター、こどもセンターを開設するなど、すでに政令市に近い業務を行って

いる。市民サービスの充実を図るためには、さらなる権限を持つことが望ましいと考えるが、政令市への移行は法改正が必要のため、まずは県に医療と教育に関する権限移譲を求めている。



市民のためにさらなる権限を

答 投票所では、消毒用アルコールや飛沫防止シートを設置し、記載台や筆記用具の定期的な消毒と換気を行う。また、投票当日の混雑を回避するため、期

まずは有権者が安心して投票できる環境を整え、投票率の向上につなげたい。

コロナ禍の選挙 期日前投票をPR 混雑を回避

問 県知事選挙投票所での新型コロナウイルス感染症防止対策と新型コロナウイルスに感染し、入院や自宅等で療養している人への投票機会の確保について聞く。

選挙から適用となる。その際には感染者の投票機会の確保について関係機関と連携し、適切に対応していく。

大久保北部遊休地の利活用

環境調査を行いながら検討

問 生物多様性の宝庫である大久保北部の里山の利活用や工場緑地など、市全体の緑の在り方について市の見解を聞く。

答 NEXCO西日本から、神戸西バイパス延伸事業の工事で発生する土砂の大久保北部遊休地への受け入れについて提案があったが、同社の土砂搬入スケジュールに市の環境調査等が間に合わないことから提案は取り下げられた。その一方で、同事業に必要な側道や迂回路の整備は行われるため、遊休地への道路アクセスが向上する。これを踏まえて遊休地の利活用を検討していく。また、工場緑地の在



利便性向上と環境保護の両立が重要

明石が誇る海岸 利用マナーの改善と 有効活用の両面に注力

問 本市における海岸利活用の取り組みと課題について聞く。

答 現在は新型コロナウイルス感染症の影響により見合わせているが、大蔵海岸西地区に整備した自然観察センターを適切な時期に開設する予定である。また、

西部海岸はサイクリングロードとして県と市が連携し、活用の推進に取り組んでいく。県が舗装修繕やサイクリング向けの案内看板を設置し、市はサイクリングロード沿いの休憩施設にサイクルラックを設置する。なお、来年開催予定の全国豊かな海づくり大会兵庫大会に向け、本市の海辺を一層PRしていく。



大蔵海岸に開設予定の自然観察ゾーン

り方は、検討会で議論し、市民意見も募集しているが、今後の検討会開催は新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ調整する。本市の

アスベスト被害

相談窓口を開設

条例制定も検討

問 アスベストによる健康被害救済に向けた今後の取り組みを聞く。

答 アスベストを吸入し、疾患を発症するまでの潜伏期間は20年から40年と言われている。本市には阪神・淡路大震災の後、がれき処理に携わった人も多く、今後、健康被害は増加すると思われる。既存の

が、ごみの放置や騒音など利用マナーの改善と周知が課題である。今後は海岸の利活用の推進とともに、啓発活動など課題解決に向けた取り組みもバランスよく行っていく。

緑の在り方は、都市の利便性と自然環境の両立が重要だと考えている。量だけでなく質も考慮し、緑地や公園の整備に努めていきたい。

支援制度では、被害者の職種やアスベスト吸入の経緯などにより利用できる制度や補償内容が異なるため、支援が迅速に行き届かない。

そのため本市では、あかし保健所の保健師等による健康相談に加え、市民相談室に弁護士職員を中心とした新たな相談窓口を開設し、より相談しやすい体制を整える。また、潜伏期間が長く、自分ではアスベストの被害に気が付きにくいことから、医療機関と協力し、当該疾患に関する情報の提供や啓発に努めるとともに、必要とする人に必要な支援が行き届くよう、条例制定も検討していく。

知識と経験生かすため 市条例の特例で 職員10人が定年延長

問 本市職員の定年は条例で60歳と定められている。現在、10人の職員の定年を延長しているのはなぜか。

答 条例では、職務が高度の知識や技能または経験を必要とするもので、職員の退職により公務の運営に著しい支障が生ずる場合は、引き続き職員を勤務させることができる」と規定している。職員の定年延長は、現在のコロナ禍において、市民の命と健康

を守るだけでなく、本市独自のさまざまな施策の推進に当たり、その豊富な知識と経験を行政運営に生かすためである。

また、今年6月には国家公務員および地方公務員の定年を引き上げるための法案が成立し、定年が65歳まで段階的に引き上げられる。60歳を超える職員の活躍の推進は、民間企業も含めた時代の流れであり、組織運営と職員本人に有益であることから、国と同様に定年を引き上げていく。



段階的に定年を引き上げ予定

旧優生保護法の被害者救済 国の支援策では不十分 市独自の支援を検討

問 旧優生保護法の被害者への国による救済は不十分である。市独自の支援はできないか。

答 平成8年に改正されるまで56年間、約2万5千人の障害者は、優生保護法による強制的な不妊手術や中絶手術を受け、子どもを産み

育てる権利を奪われた。国は31年4月に、旧優生保護法の被害者に対して一時金の支給等に関する法律を制定したが、対象者は手術を受けた本人に限られている。また、被害者の多くは障害や高齢のため、申請に必要な書類

を用意できないなどの課題も指摘されている。本市は、30年6月に、あかし保健所や明石市社会福祉協議会、明石市障害当事者等団体連絡協議会(A・S・K)等に相談窓口を開設している。今後は、現行の犯罪被害者等の支援に関する条例を参考に、国の一時金支給を受けられない人への支援や条例制定など、被害者に寄り添った支援の在り方を検討していく。

永年在職表彰など受賞

5月26日の全国市議会議長会定期総会において、4人の議員が表彰を受けました。これは、長年にわたる市政発展への貢献が認められたものです。

議員在職10年以上表彰

- 楠本 美紀 議員
- 榎本 和夫 議員
- 寺井 吉広 議員
- 宮坂 祐太 議員

また、5月3日に穂原成人議員が兵庫県自治功労者表彰を受けました。これは、長年にわたり地方自治の振興と発展に尽くした功績によるものです。

議員の寄付行為等の禁止について

議員の

- ※時候のあいさつ状
- ※中元や歳暮

※祭りや会合への寄付などは公職選挙法で禁止されています
皆様のご理解とご協力をお願いします

議員ふもやま話

コロナの影響で人との交流が難しくなりました。日常生活にもさまざまな制約があり、マスクで物理的にも息苦しさを感じます。いつまでこんな生活が続くのかと気がめいりますが、大人でさえもこうなのに、子どもはどうかと案じます。

人は人と交流することで、心が磨かれ、成長していきます。自分ではない誰かの存在が心よりどころになることもあります。コロナ禍で学校の一時休校や行事の中止・縮小など、子どもの経験する機会が奪われるたびに、またそれを「仕方ない」と子どもが受け入れる姿を見るたびに胸が痛む思いでした。そして一番怖いのは「仕方ない」と思考停止してしまうことではないか、とも。

失われた子どもたちの機会をどう補うか。今後出てくる影響に対しての手立てを私たち大人は考え続けなければなりません。

市のワクチン接種計画

認知症や障害者にも対応

問 高齢者、基礎疾患のある人、その他の市民と続く新型コロナウイルスワクチンの接種について、今後の予定を聞く。

答 本市は、ワクチン接種を希望する人には、9月末までに2回の接種を終える計画である(6月時点)。課題はワクチンが届くかどうかであり、接種計画に合

わせたファイザー社製のワクチン供給を国や県へ要望しているところだ。

また、より早く、より丁寧に進めることを念頭に、認知症の人には接種の同行支援を行い、障害のある人には専用の接種会場を市民病院内に開設する予定だ。

コロナ禍の健康維持 高齢者支援を推進 医療介護データも活用

問 コロナ禍における高齢者の健康維持と、データを活用した健康長寿社会の構築について、市の見解を聞く。

また、市内で横断的に医療・介護のデータを分析、活用できるよう4月から体制を整備し、保健事業と介護予防事業の一体的な取り組みを進めている。今後も高齢者の健康寿命を延ばすため、データ等を活用し効果的な施策につなげていく。

答 本市が昨年行ったアンケートや電話相談において、高齢者の社会的孤立の防止や介護予防、認知症対策の必要性がより明らかになった。これまでも自主活動グループへの支援やオリジナル体操の啓発など、健康維



市のHPでオリジナル体操を配信

このほか、ワクチン未接種による不当な差別やいじめを禁止するため、3月に制定したコロナ感染者への差別を禁止する条例に追加することも検討している。



集団接種会場(あかし市民広場)

コロナ禍でも 生きる力を育む 体験教育

問 自然学校とトライやる・ウィークは、子どもの成長に応じた生きる力を育む活動である。コロナ禍において、どのように取り組むのか、市の考えを聞く。

また、庁内で横断的に医療・介護のデータを分析、活用できるよう4月から体制を整備し、保健事業と介護予防事業の一体的な取り組みを進めている。今後も高齢者の健康寿命を延ばすため、データ等を活用し効果的な施策につなげていく。

オーガニック給食 食材確保と 費用面に課題

問 有機食材を使ったオーガニック給食は、費用面などの課題もあるが、子どもの食の安全や循環型社会の観点からも段階的に取り組むべきではないか。

答 学校給食は、大量の食材を安定して確保する必要があり、オーガニック食材を使う場

進むICT教育 電磁波被ばくとブルーライト 子どもたちへの対策は

問 国のGIGAスクール構想を受け、市内の小中養護学校に無線LAN設備と1人1台のタブレット端末を整備した。子どもへの影響が大きいと言われるブルーライト対策と電磁波被ばくについて聞く。

また、庁内で横断的に医療・介護のデータを分析、活用できるよう4月から体制を整備し、保健事業と介護予防事業の一体的な取り組みを進めている。今後も高齢者の健康寿命を延ばすため、データ等を活用し効果的な施策につなげていく。



画面には保護シートを貼付

が、野菜価格の高騰などもあり厳しい状況にある。その一方で、食の安全意識が高まっており、学校給食には安全性を発信する役割もある。オーガニック給食をどのように位置付けるのか他市の事例も参考に検討したい。

電磁波過敏症については、明確な診断基準はないものの、申し出があった場合は、学校と協議し個別の対応を検討する。タブレット端末の長時間の利用は、健康面や教育上の観点から望ましくないため、授業等で情報リテラシーの教育を進め、保護者にも周知を図り、児童生徒の学力向上の一助となるICT教育を推進していきたい。

PTAは学校・家庭・地域の懸け橋 保護者が参加しやすい環境を

問 PTA活動に対する市の認識と環境整備について問う。

答 PTAは任意加入団体だが、学校・家庭・

地域の懸け橋として子どもたちの健全育成に関し、長年にわたる実績があり、その活動は大変重要である。しか

しながら、平日に活動しにくい共働き家庭が増加する中、強制的に役員を割り当てられることや、個人情報の取り扱いなどが課題となっている。そのため、明石市連合PTAでは、教育委員会と連携し、入会申込書や個人情報

の取り扱いの適正化などに関する指針を策定し、活動内容の見直しや組織体制のスリム化を図っている。今後は、子育てやPTA活動などでも休暇が取りやすい職場環境の整備に向け、取り組んでいく考えだ。

請願

- ▽採択された請願△
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度を堅持するための2022年度政府予算に係る意見書採択の請願
- 幼小中学校給食の無添加を目指す請願

意見書を提出

- 意見書1件を可決し、政府・関係機関に送付しました。以下はその要旨です。
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持を
- 国は、地方教育行政の实情を十分に認識し、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、来年度の予算編成において、次の事項に取り組みよう強く要望する。
- 1 中学校・高校での35人学級の早急な実施と、さらなる少人数学級について検討すること。
- 2 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、教職員定数改善を推進すること。
- 3 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。
- 4 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を堅持すること。

令和2年度の政務活動費 収支報告書・領収書等が閲覧できます

公文書公開請求をしなくても政務活動費の収支報告書・領収書等の閲覧ができます。令和2年度分(令和2年4月～3年3月)が新たに閲覧の対象となります。なお、閲覧できるのは平成28年4月分からです。

- 閲覧開始日 8月2日(月)
- 閲覧時間 午前8時55分～午後5時40分(閉庁日を除く)
- 閲覧場所・問い合わせ先 議会局総務課(市役所議会棟3階) TEL: 911-2600 FAX: 918-5112 メール: gikai@city.akashi.lg.jp

マイナンバーカードの交付促進

日曜や夜間の対応も検討

問 マイナンバーカードの交付状況を聞く。また、申請者の増加に伴い、交付窓口の拡充が必要ではないか。

答 本市のマイナンバーカードの申請者は、今年5月末で市民全体の約43%に当たる約13万1千人であり、そのうちカードを交付したのは約8万8千人となっている。

昨年から実施していたマイナポイント事業を受け、



市民課のマイナンバーカード交付窓口

交付件数が増加したことから、職員を増員するとともに交付窓口を増設したほか、土曜の交付や、24時間対応の予約システムの導入なども行ってきた。

しかし、4月末の同事業終了前に駆け込みでの申請が増加したことから、交付処理件数をさらに増やすため、7月中には市民課と市

育成が急務

主任ケアマネ

受講費の助成を

問 質の高い在宅介護サービスを提供するには、知識や技術の向上に加えてケアマネジャー(以下ケアマネ)を統括する主任ケアマネの確保と育成が重要である。主任ケアマネ研修の受講費の助成が必要ではないか。

答 主任ケアマネは、ケアマネを指導、助言、

見守り活動などを行う予定である。現在は、モデル地域の選定に向けて、自治会への説明や、地域で猫を世話している人に協力を求める働きかけを進めているところだ。

地域みんなで取り組む 明石まちなねこプロジェクト モデル地域の選定へ

問 今年度から取り組む明石まちなねこプロジェクトの内容と今後の取り組みについて聞く。

答 本市は、これまでも飼い主のいない猫に去勢・不妊手術を受けさせる市民や自治会等に対して、手術費用の一

部助成や、登録ボランティアによる協力体制の構築などに取り組んできた。

今年度からは、明石まちなねこプロジェクトとして、まずはモデル地域の選定を行い、自治会やボランティア、さらには獣医師会や関係団体等からの協力を受け、地域における周知・合意形成に取り組む。

その上で、助成金を活用した手術を実施し、その後の適正な餌やりやトイレの管理等を含めた



猫の殺処分ゼロを目指す

民センターに処理専用端末を増設していく考えだ。今後は、日曜や夜間の時間帯の交付にも対応できるように、窓口の開設時間の調整を行っていく。

生理の貧困に対する支援 きんもくせいプロジェクト 次年度以降も継続

問 経済的な理由で生理用品を購入できない生理の貧困が大きな関心事を集めている。本市の取り組み状況と、学校のトイレへの設置について聞く。

答 本市は、4月から生理用品サポート事業として「きんもくせいプロジェクト」を開始した。同事業は、単に生理用品を配布するだけでなく、必要な相談支援につなげることを目的としている。学



市の生活再建支援担当窓口でも配布

校やあかし男女共同参画センター、AKASHI HIユーススペースなどのほか、5月からは子ども食堂でも配布し、2カ月で延べ309人に配布した。同事業については、次年度以降も継続する考えだ。

学校のトイレへの設置は、衛生面を含めた管理上の課題があることや、相談支援につなげるという事業本来の趣旨も踏まえ、さらに検討を行っていく。

コロナ禍で困窮

相談件数が増加

30・40代男性が中心

問 新型コロナウイルスの感染拡大により失業し、生活が苦しくなった人への支援は。

答 生活困窮者へ包括的な支援を行う本市の生活再建支援担当窓口では、相談件数が増加している。昨年度は、30・40代の男性を中心に1314件の相談があり、そのうち失業者等に家賃相当額を支給する住

居確保給付金の相談が612件あった。今年度も厳しい状況が続くと見込まれるため、6月に職員を増員した。なお、失業による相談には、職業安定所と連携して仕事を探すなどの支援も行っている。

また、国が社会福祉協議会の貸付制度を上限まで利用した生活困窮世帯に、新型コロナウイルス生活困窮者自立支援金を7月から支給すると公表したため、申請のあった対象者への速やかな支給に向けて準備を進めていく。

公益監察員

選任に同意

令和3年6月30日をもって任期満了となる林晃史氏(61歳・西宮市)を引き続き選任することに同意しました。

同氏は、弁護士として活躍され、近畿弁護士連合会理事、兵庫県弁護士会会長、日本弁護士連合会常務理事などを歴任されていきます。

なお、本市の公益監察員は2人で、公益監察契約の期間は3年となっています。

議会ポスターデザイン決定

年4回の議会開催をお知らせするポスターのデザインを市内在住・在学の高校生から募集しました。23人の応募があり、全議員で選考し、優秀賞4点を決定しました。

- 6月議会 (岡田 舞さん)
 - 9月議会 (兵庫県立明石城西高校) 正中 日夕輝さん
 - 12月議会 (兵庫県立明石南高校) 吉母 実鈴さん
 - 3月議会 (兵庫県立明石高校) 吉田 汐里さん
- 作品は市議会ホームページをご覧ください。



小学生

夏休み親子で議会体験ツアー

参加者募集

いつもは見る事ができない市議会をのぞいてみませんか?

日時 8月21日(土)

内容 (1)1〜3年生の部 10時〜1時間程度
(2)4〜6年生の部 13時〜1時間程度
(1)クイズ、議会棟の探検ほか
(2)模擬本会議を体験、議会棟の探検ほか

会場 市役所議会棟

対象 市内在住・在学の小学生とその保護者

定員 各部9組 原則1組2人

参加費 無料

申し込み 8月10日(火)までに、メールかFAXで議会事務局へ

メール①児童の氏名(ふりがな)・学年②保護者の氏名(ふりがな)③電話番号(日中に連絡のとれる番号)の記入、件名は「夏休み親子で議会体験ツアー」

参加の可否 8月13日(金)までにメールでお知らせ

議会事務局 TEL:911-2600 FAX:918-5112

メール: gikai@city.akashi.lg.jp

※新型コロナウイルスの感染状況によつては、中止になる場合があります。



新議長・副議長に聞く

5月14日に開かれた本会議で、議長・副議長の選挙を行い、議長に榎本和夫議員、副議長に国出拓志議員が選任されました。議会の代表である2人に、新型コロナウイルス感染症に関する施策や市民へのメッセージなどを聞きました。



撮影場所 林崎・松江海岸

副議長 くにで 国出

ひろし
拓志 (64)

公明党 在職4期
監査委員、文教厚生常任
委員長、建設企業常任委
員長など歴任

議長 えのもと 榎本

かずお
和夫 (65)

自民党 真誠会 在職3期
副議長、監査委員、議会
運営委員長、生活文化常
任委員長など歴任

議長に聞く

新型コロナウイルス

新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた方々とそのご家族に哀悼の意を表します。また、感染拡大防止の取り組みにご協力をいただいている市民の皆さま、事業者の皆さまに感謝を申し上げます。

市議会では、市民の皆さまの声に耳を傾け、必要な支援を的確に行えるよう、議員一丸となって取り組んでいます。
アフターコロナに向けて
コロナ禍において、地

域経済は大きなダメージを受けています。商工業者をはじめ各分野の特色に合った支援策を市に提案してまいります。

さらに今後を見据え、市内産業の活性化を図るため、工場の緑地面積率の緩和に関する議論や、老朽化が進む水道管などのインフラ更新を計画的に進める必要があります。

市民の皆さまへ
コロナの感染拡大で、皆さまには、ご不便、ご負担をおかけしますが、明けぬ夜はありません。皆さまと一緒に、元気な明石を取り戻していきたいと思っています。

副議長に聞く

コロナ条例

変異株による感染が拡大し、いつ誰が感染してもおかしくない状況になりました。そのような中、感染した方などへの誹謗中傷が起きている現実、胸を痛めています。本市は、差別などを禁止する条例を3月に制定しています。市民の皆さまには、正しい情報のもと冷静な行動をお願いします。

今年度の議会の取り組み

令和4年の秋に迫ってきた全国豊かな海づくり大会兵庫大会は、天皇皇

后両陛下ご臨席のもとに開催される国民的行事です。市議会では、市民の皆さまへの啓発と大会の機運を盛り上げるため、明石市議会豊かな海づくり大会推進委員会を設置しました。また、持続可能な財政運営について議論を行うため、市に対して(仮称)明石市財政健全化推進協議会の設置を要請しています。

市民の皆さまへ

コロナ対策と同様に、新庁舎建設や第6次長期総合計画策定など、市政の重要課題についても、しっかりと議論を続けていきます。

今年度の議会の活動を紹介します

明石市を住みよいまちにしていくためには、道路などを整備したり、医療、福祉、教育といった公的サービスの充実を図る必要があります。そのためには、財源の問題や実施体制、ルールづくりなど、さまざまな課題を解決していかなければなりません。

市議会では、そのための方策について話し合い、市民の願いの実現に努めていきます。



市議会の取り組み

市議会では、今、明石市が抱える「特に重要な課題」の調査・研究や市長等の取り組み状況のチェックなどを行っています。

第6次長期総合計画(あかしSDGs推進計画)特別委員会

総合計画とは

総合計画は、これからの明石市のまちづくりの目標を定めるものです。市民と共有する将来ビジョンを示しており、市政を総合的、計画的に運営していくための最上位計画です。明石市自治基本条例において策定を義務付けており、市議会の議決が必要です。コロナ禍により策定が1年遅れましたが、現在、2030年の本市のあるべき姿を「SDGs未来安心都市・明石～いつまでもすべての人にやさしいまちをみんなで～」とする第6次長期総合計画の策定を進めています。

特別委員会の設置目的

総合計画の策定に向け、集中して議論を行うため、令和2年3月に「あかしSDGs推進計画特別委員会」を設置しました。特別委員会では、市議会や市民、事業者などの多様な意見を総合計画に反映していけるよう、調査・研究を行うとともに、しっかりと議論を行い審査します。

3年5月から長期総合計画を審査する特別委員会であることをより分かりやすく市民へお知らせするため、「第6次長期総合計画(あかしSDGs推進計画)特別委員会」に名称を変更しました。

市議会としての取り組み

明石市議会の議決すべき事項等に関する条例において、総合計画の策定、変更または廃止を議決事項と定めています。市政の重要な案件として、総合計画を素案の段階から十分に議論し、二元代表制の一翼として、責任を持って策定を進めていきます。

特別委員会の審査概要(6月)

「市」 ワクチン接種業務に全庁挙げて取り組んでいるため、今年度も計画の策定が3～6カ月程度遅れる見込みである。

「委員」 市の施策の根幹となる重要な計画であるため、できる部分から着実に進めてほしい。SDGsの達成と長期総合計画の関係性が分かりにくい、明石市のあるべき姿を設定した上で、それを達成する手段としてSDGsを取り入れるべきではないか。計画策定が遅れることについては、了承し難い。

明石市議会豊かな海づくり大会推進委員会

委員会の設置目的

令和4年秋に、本市をメイン会場として行われる全国豊かな海づくり大会兵庫大会に向けて、大会への市民の理解と参加の輪を広げ、市全体で大会を盛り上げる機運を醸成するための取り組みについて検討します。

市議会としての取り組み

大会に向けての必要な準備等について、市に提言するとともに、豊かな海づくりのための取り組みを検討します。今後は、大会開催に向け、市および市議会として、それぞれ何ができるか協議を進め、10月末から11月頃までに市への提言書をまとめる予定です。

大会の概要

名称：第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会～^{みけつくに}御食国ひょうご～

開催場所：式典行事は明石市民会館

海上歓迎・放流行事は明石港ベランダ護岸

- 行事内容**：①式典行事(表彰、メッセージの発表、大会決議など)
 ②海上歓迎・放流行事(漁船による航行、稚魚等の放流)
 ③歓迎レセプション
 ④関連行事(兵庫県産農林水産物の販売など、県内各地の特色を生かした行事を展開)

「(仮称)明石市財政健全化推進協議会」

設置の要請をしています

社会経済状況が厳しさを増す中、多様化・複雑化する行政課題に対応しながら市政運営に取り組む必要があり、特に財政運営については、コロナ後を見据えた中長期的な視点で考える必要があります。次世代に負担を先送りしない持続可能な財政構造の構築を目指して、市と市議会が直面する課題を共有し、対等の立場で議論していくために、市に対して協議会の設置を求めています。

開かれた市議会を目指し、会議等の内容を伝えるための取り組み

本会議中継に手話通訳画像を組み込みます

手話通訳をワイプ画面で常時、ご覧いただけるようになります。

開始時期 令和3年第2回定例会9月議会から(予定)



平成30年9月議会の本会議中継から、演壇での発言については、演壇横に並んだ手話通訳者の映像をご覧いただいていたのですが、2回目以降の自席での発言には対応できていませんでした。

令和3年9月議会からは、手話通訳画像をワイプ画面に組み込み、全ての発言が手話付きでご覧いただけるようになります。

市議会ホームページを全面リニューアルします

実施時期 令和3年9月(予定)

- 主な内容**
- ①スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末に対応し、より見やすく、使いやすいページにリニューアルします。
 - ②掲載内容を整理し、知りたい情報に素早くアクセスできるようにします。

詳細は令和3年12月議会号(255号)でお知らせします。



現在のホームページ

市議会だより点字版を発行しています

令和3年3月議会号(251号)から点字版を発行しています。

詳細は8面をご覧ください。

